

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.234

Q.

世界の株式市場は大きく下落した後、どのような動きになるの？

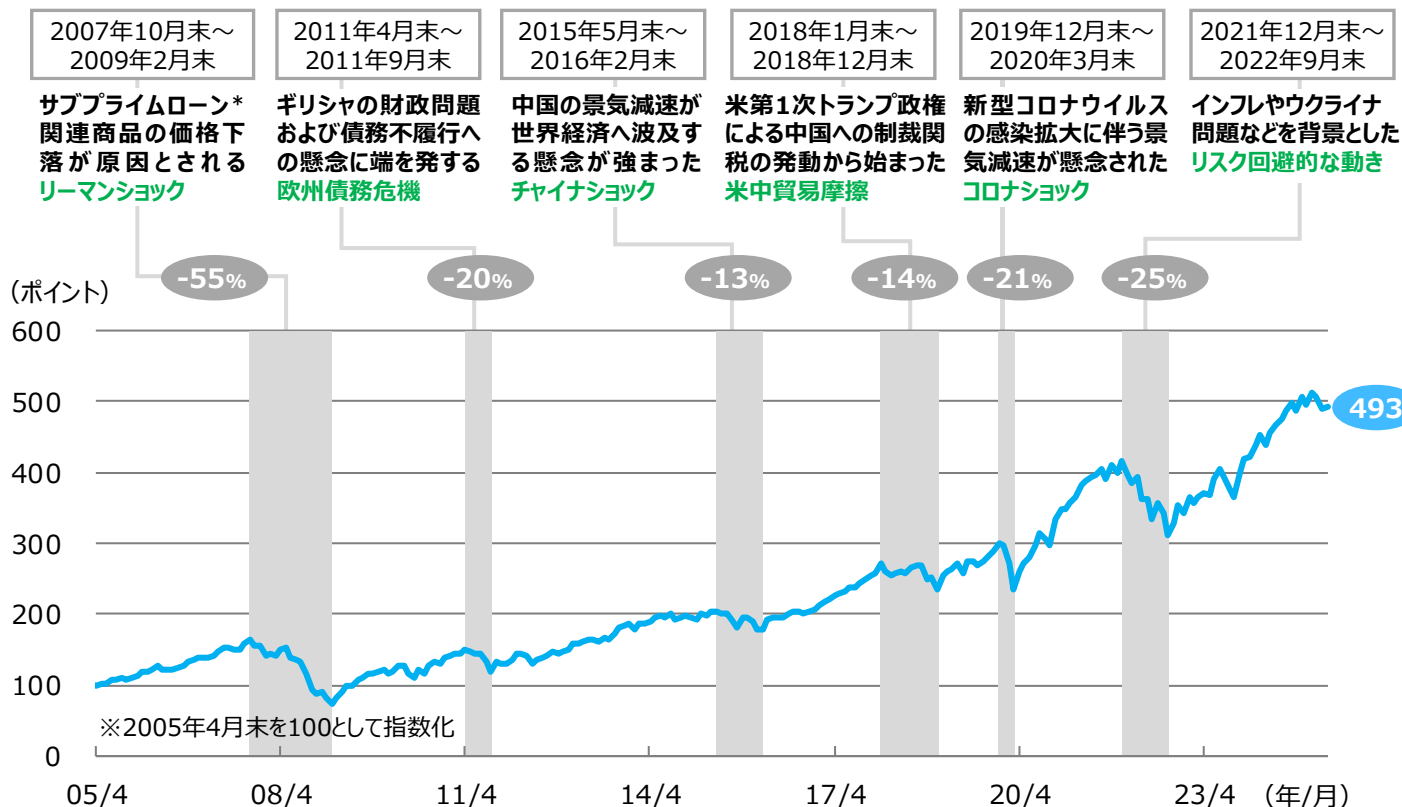
A.

過去20年において世界株式は、下落局面の後に上昇し、下落前の水準を回復して上昇傾向を示しました。

これまで世界の株式市場では、リーマンショック、チャイナショックやコロナショックなど、いくつもの下落局面がありましたが、一時的に大きく下落した後は反転して上昇しています。下落前の水準を回復するには数年程度を要する場合もありましたが、長期的には下落前の水準を回復し上昇傾向を示しました。

株式市場が大きく下落したとき、その**変動幅や変動率に一喜一憂するのではなく、まずは下落要因などをしっかりと把握し、各資産・市場のファンダメンタルズにどのような変化があったのかを落ち着いて見極めて、今後の見通しをしっかりと持つことが重要**です。

過去20年における世界株式の推移と下落局面



*信用力の低い借り手向けのローン

(注1) データは2005年4月末～2025年4月末、月次。

(注2) 世界株式はMSCI ACワールドインデックス（配当込み、米ドルベース）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

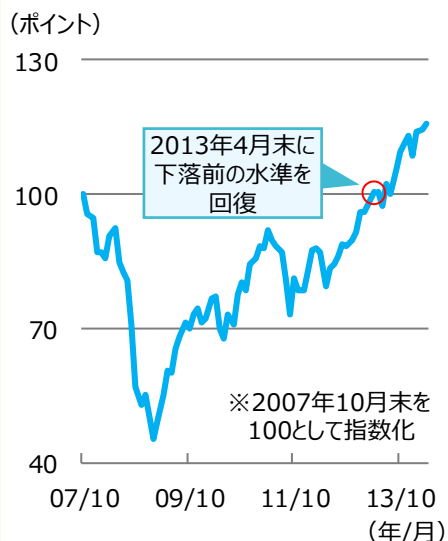
※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

世界株式の大幅な下落以降の推移

サブプライムローン関連商品の価格下落を背景としたリーマンショック

2007年10月末～2014年4月末、月次

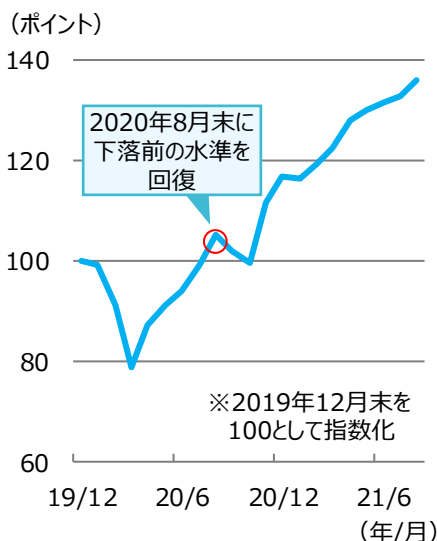


下落前の水準まで回復後、
1年後の騰落率
(2013年4月末比)

2014年4月末 15%

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う コロナショック

2019年12月末～2021年8月末、月次

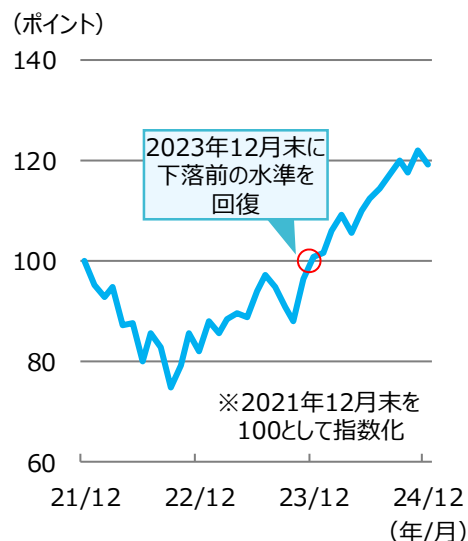


下落前の水準まで回復後、
1年後の騰落率
(2020年8月末比)

2021年8月末 29%

インフレやウクライナ問題などを背景とした リスク回避的な動き

2021年12月末～2024年12月末、月次



下落前の水準まで回復後、
1年後の騰落率
(2023年12月末比)

2024年12月末 18%

(注) 世界株式はMSCI ACワールドインデックス（配当込み、米ドルベース）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。